

WHAT IS CLAIMED IS:

1. 結紮装置 comprising

生体腔内に挿入可能な導入管と、この導入管内に進退自在に挿通された操作ワイヤと、基端部に前記操作ワイヤの先端部が係合部品を介さずに直接係合したクリップと、前記クリップの基端部と操作ワイヤの先端部を引き離す方向の力が印加された際に、前記クリップの基端部もしくは前記操作ワイヤの先端部の少なくとも一方に設けられた係合手段のうち、少なくとも一方が変形して、前記クリップと前記操作ワイヤの係合を解除する。

2. A mechanism according to claim 1 wherein

前記クリップの基端部に腕部とは反対方向に突出された変形可能な鉤を設けた。

3. A mechanism according to claim 1 wherein

前記操作ワイヤの先端部に閉じたループ部を設けた。

4. A mechanism according to claim 3 wherein

前記クリップ基端部と操作ワイヤの先端部を引き離す方向の力が印加された際に、ループ部が破断し、クリップと操作ワイヤの係合を解除する。

5. A mechanism according to claim 1 wherein

前記操作ワイヤの先端部を挿通可能なクリップの基端部に設けた孔と、操作ワイヤの先端部に設けられ孔よりも大きな膨隆部とを構成した。

6. A mechanism according to claim 1 wherein

前記クリップの腕部に被嵌して装着することによりクリップの挟持部を閉成するクリップ締付リングと、導入管もしくはクリップ締付リングの少なくとも一方に設けられ、クリップ及びクリップ締付リングが導入管の前方に突き出した際に、クリップ締付リングが導入管内に再度収納されることを禁止する係合手段を設けた。

7. A mechanism according to claim 6 wherein

前記クリップの基端部に前記腕部とは反対方向に突出された変形可能な鉤を設けた。

8. A mechanism according to claim 6 wherein

前記操作ワイヤの先端部に閉じたループ部を設けた。

9. A mechanism according to claim 8 wherein

前記クリップ基端部と操作ワイヤの先端部を引き離す方向の力が印加された際に、ループ部が破断し、クリップと操作ワイヤの係合を解除する。

10. A mechanism according to claim 6 wherein

前記操作ワイヤの先端部を挿通可能なクリップの基端部に設けた孔と、操作ワイヤの先端部に設けられ孔よりも大きな膨隆部とを構成した。

11. A mechanism according to claim 1 wherein

前記導入管内に進退自在に挿通され、内腔に操作ワイヤを進退自在に挿通した操作部材と、前記クリップの腕部に被嵌して装着することにより前記クリップの挟持部を閉成するクリップ締付リングを設けた。

12. A mechanism according to claim 11 wherein

前記クリップの基端部に前記腕部とは反対方向に突出された変形可能な鉤を設けた。

13. A mechanism according to claim 11 wherein

前記操作ワイヤの先端部に閉じたループ部を設けた。

14. A mechanism according to claim 11 wherein

前記クリップの基端部と操作ワイヤの先端部を引き離す方向の力が印加された際に、ループ部が破断し、クリップと操作ワイヤの係合を解除する。

15. A mechanism according to claim 11 wherein

前記操作ワイヤの先端部を挿通可能なクリップ基端部に設けた孔と、操作ワイヤの先端部に設けられ孔よりも大きな偏平膨隆部とを構成した。

16. 結紮装置 comprising

生体腔内に挿入可能な導入管と、この導入管内に進退自在に挿通された操作ワイヤと、基端部を有しこの基端部より延出する腕部に挟持部を形成したクリップと、前記クリップの基端部に設けられ前記操作ワイヤを挿通可能な孔と、前記孔に挿通された操作ワイヤの先端部に設けられ前記孔よりも大径な膨隆部とを具備した。

17. A mechanism according to claim 16 wherein

前記クリップの腕部に被嵌して装着することにより、クリップの挟持部を閉成するクリップ締付リングと、このクリップ締付リングの後方に配置された導入管に進退自在に挿通された操作部材とを具備した。

5 18. A mechanism according to claim 16 wherein

前記クリップの腕部に被嵌して装着することにより、クリップの挟持部を閉成するクリップ締付リングと、導入管もしくはクリップ締付リングの少なくとも一方に設けられ、クリップ及びクリップ締付リングが導入管の前方に突出した際に、クリップ締付リングが導入管内に再度収納されることを禁止する係合手段と、クリップ締付リングの後方に配置された導入管に進退自在に挿通された操作部材とを具備する。

19. A mechanism according to claim 16 wherein

前記操作ワイヤの先端部を偏平状に潰し、膨隆部を形成した。

20. A mechanism according to claim 16 wherein

前記操作ワイヤの先端部にパイプ状部材を嵌着させ、膨隆部を形成した。

21. 結紮装置 comprising

生体腔内に挿入可能な導入管と、この導入管内に進退自在に挿通された操作ワイヤと、基端部を有しこの基端部より延出する腕部に挟持部を形成した少なくとも2個以上のクリップと、2個以上のクリップを直列に配置するとともに、それぞれのクリップの基端部に前記操作ワイヤを挿通可能な孔を設け、それぞれのクリップの基端部の孔に挿通された操作ワイヤの先端部に孔よりも大きな膨隆部を設けた。

22. A mechanism according to claim 21 wherein

前記クリップの腕部に被嵌して装着することにより、クリップの挟持部を閉成するクリップ締付リングと、最近位に位置するクリップ締付リングの後方に配置された導入管に進退自在に挿通された操作部材とを具備する。

23. A mechanism according to claim 21 wherein

前記クリップの腕部に被嵌して装着することにより、クリップの挟持部

を閉成するクリップ締付リングと、導入管もしくはクリップ締付リングの少なくとも一方に設けられ、クリップ及びクリップ締付リングが導入管の前方に突出した際に、クリップ締付リングが導入管内に再度収納されることを禁止する係合手段と、最近位に位置するクリップ締付リングの後方に配置された導入管に進退自在に挿通された操作部材とを具備する。

2 4 . A mechanism according to claim 2 1 wherein

前記操作ワイヤの先端部を扁平状に潰し、膨隆部を形成した。

2 5 . A mechanism according to claim 2 1 wherein

前記操作ワイヤの先端部にパイプ状部材を嵌着させ、膨隆部を形成した。

2 6 . 結紮装置 comprising

生体組織に留置可能な２個以上のクリップと、生体腔内に前記クリップを導入可能な可撓性のある導入管と、２個以上のクリップを順次生体腔内に留置させることが可能な操作機構とを有する結紮装置であって、前記結紮装置が梱包される際に、少なくとも前記クリップを含む前記導入管部が半径 1 5 m m 以上、もしくは真直状態となるように梱包されている。

2 7 . 結紮装置 comprising

生体組織に留置可能な２個以上のクリップと、生体腔内に前記クリップを導入可能な可撓性のある導入管と、２個以上のクリップを順次生体腔内に留置させることが可能な操作機構とを有する結紮装置であって、前記クリップを含む前記導入管部が内視鏡の湾曲部の前方に位置している。

2 8 . A mechanism according to claim 2 7 wherein

前記導入管の先端部から 1 2 5 m m 以内の位置にすべてのクリップが装填されている。

2 9 . 結紮装置 comprising

生体組織に留置可能なクリップと、生体腔内に前記クリップを導入可能な可撓性のある導入管と、前記クリップを生体腔内に留置させることが可能な操作機構とを有する結紮装置であって、

一度閉じたクリップを再度拡開させ、閉じ直すことが可能な機構を有する。

30. 撚り線ワイヤ comprising

少なくとも2本の素線を撚り合わせ、前記素線のうち少なくとも1本を使用して、撚り線ワイヤの先端部にループを形成し、ループを形成した素線を再び撚り線ワイヤの手元側に撚り戻した。

5 31. A mechanism according to claim 30 wherein

前記素線を撚り線で構成した。

32. A mechanism according to claim 30 wherein

前記3本の素線を撚り合わせて撚り線ワイヤを形成した。

33. A mechanism according to claim 1 wherein

10 少なくとも2本の素線を撚り合わせた撚り線ワイヤの素線のうち、少なくとも1本を使用して、撚り線ワイヤの先端部にループを形成し、ループを形成した素線を再び撚り線ワイヤに撚り戻した撚り線ワイヤによって操作ワイヤを構成した。

34. A mechanism according to claim 1 wherein

15 少なくとも2本の素線を撚り合わせた撚り線ワイヤの素線のうち、少なくとも1本を使用して、撚り線ワイヤの先端部にループを形成し、ループを形成した素線を再び撚り線ワイヤに撚り戻した撚り線ワイヤによって掛合手段を構成した。